

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 6 年 9 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 26 号 令和6年度松戸市一般会計補正予算(第4回)
議員名・会派名等	まつどみらい(大橋博、石塚裕、柿沼光利、田中睦生、岡本優子)
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	ただいま、委員長より報告のありました、「議案第26号 松戸市一般会計補正予算(第4回)」について、委員長報告のとおり、会派を代表して、賛成の立場で討論いたします。これは、会派 5 人の総意です。 我が会派の市庁舎建て替えに関する考えは、今定例会一般質問において、大橋幹事長が強調して申し上げた通り、「現地建て替えに戻ることのないよう、ブレず、迷わず前へ進めて欲しい」ということであります。 このことについては、 ・第1ステップ新庁舎整備の、全体的なスケジュールを短縮する工夫をし、工事費の抑制(よくせい)を図りながら、一刻も早い新庁舎整備を進めること、 ・第2ステップについては、第1ステップからあまり時間をかけずに集約が叶うよう、しっかりと検討すること、 ・そして、いつまでも「出来もしないこと」「実現性の低いこと」の議論によって、いたずらに時が流れ、本館・新館の耐震化を遅らせるのではなく、市民の要望などを踏まえ、皆が同じ方向を向き、前を向いた議論をしていく段階である。 と、申し上げ、そのうえで、特別委員会の場において、「本来、新庁舎の整備は、市民にとって、楽しさと安心感を得られる事業である」と申し上げました。 また、今後はポジティブな議論をしていくことが必要であるという観点から、「新庁舎の整備基本計画」の進め方に関し、3点のポイント、 ①防災に対する備えを十分にしつつ ②早期の新庁舎整備を実現し、さらには、 ③市民の集える、賑わいや経済効果を考慮した空間の整備 について、確認をいたしました。 具体的には、 ひとつめ、中野区役所などの事例をもとに、昨今の大規模の災害を鑑みると、これから作る新庁舎は、有事の際に、災害対応拠点とし

	て、業務が継続できるよう、設備を構築すべきであること、 ふたつめ、事業の実現性に向け、工期短縮に関する内容以外にもヒアリングをすべきであるということ、 みつめに、新庁舎は市民が楽しめるスペースであるとともに、賑わいや経済効果を考慮した「しつらえ」とすべきであること、 であります。 これらの点について、執行部として、これからの庁舎において、防災と賑わいを、特に重要な視点としつつ、早期に、前向きな検討を進めていきたいという、考えが確認できました。 よって、今回、執行部より示された、5つの補正予算は、我が会派の考えに合致しており、新庁舎整備を早期に進めていくために、必要な予算であると考えます。 以上のことから、繰り返しとなりますが、「現地建て替えに戻ることのないよう、ブレず、迷わず前へ進めて欲しい」と申し上げ、「議案第26号 松戸市一般会計補正予算(第4回)については、「会派 まつどみらい」といたしまして、賛成の討論といたします。 満場の皆様のご賛同をよろしくお願いいたします。
--	--